



復興支援ニュース ～ふくしま～ vol.27

内閣府政府広報室では、福島県内の被災者の皆さまにとって役立つ政府や自治体の復興支援策や、各地で取り組まれている復興へ向けたさまざまな活動事例を「復興支援ニュース～ふくしま～」としてお届けいたします。ご紹介する復興支援策や活動事例については、支援団体等からヒアリングした被災者の皆さまの支援ニーズが高いテーマをもとに構成しております。

復興に向けた活動事例のご紹介

二本松市 今までとは違った繋がりを

二本松市で東日本大震災と原発事故による風評被害を克服するため、「NPO法人がんばろう福島、農業者等の会」は、福島県産の農産物を全国に届ける活動に取り組んでいます。

インターネットで全国から注文を受けることから始め、直販も手掛けており、東京ではのべ200回ほど農産物の直売を行っています。

さらに、この会から首都圏の方々に農産物を送り、販売してもらうという活動も行っています。理事長の齊藤さんは、全国の方々と繋がることが出来たのが一番大きな成果だったと話しています。



福島放送『未来を見つめて 福島希望』

番組内容の詳細は『広げよう!みんなで復興のつち音』
<http://www.gov-online.go.jp/cam/fukko/>

福島市 避難して感じた“ふるさとの大きさ”



平成23年8月からお子さんと山形で避難生活をしてきた中村さんは、26年3月に福島県に戻ってきました。

「避難先の山形県では様々な方に大変お世話になり、感謝でいっぱい。でも、砂の上で暮らしているような感覚だった」と振り返ります。福島県から離れて、自分の中にある、ふるさとの大きさを感じた、と言います。

中村さんが代表を務める「山形避難者母の会」では、県外に避難している家庭の母親が、福島県に戻った母親と会話できる機会を作っています。実際に戻ってみての生活はどうか、戻ってからの生活について生の声こそが大切だと考えているそうです。

ラジオ福島 『笑顔発信!ラジオ希望堂』

番組内容の詳細は『広げよう!みんなで復興のつち音』
<http://www.gov-online.go.jp/cam/fukko/>

復興に向けた支援策のご紹介

生活再建に関する復興支援策

震災法テラスダイヤルについて

震災時、自宅や営業所などが災害救助法の適用地域にあった方は、「法テラス」で弁護士・司法書士による無料法律相談が受けられます。ぜひご活用ください。

また、二重ローン等の借金問題の解決や、原発被害の賠償請求などを専門家が支援し、その費用を法テラスが立て替えることも可能です。

【お問い合わせ先】

震災法テラスダイヤル：0120-078309（おなやみレスキュー）

住宅再建に関する復興支援策

住まいの復興給付金について

昨年4月に実施された消費税率の引上げにより東日本大震災で被災された皆さまの住宅再建に支障が出ないようにするため、「住まいの復興給付金」が給付されます。

被災した住宅を被災時に所有していた方が、引上げ後の消費税率が適用される期間に、新たに住宅を建築・購入、または被災住宅を補修し、その住宅にお住まいの場合に、建築・購入時で最大約90万円の給付を受けることができます。

また、住まいの復興給付金の申請について、質問や相談をお受けする相談会を開催します（予約不要・参加無料）。直接お問い合わせいただける機会です。ぜひ、会場にお越しください。

【住まいの復興給付金 申請相談会】

相談内容 …給付の可否、申請書の記入方法、必要書類、作成済み書類の確認等
※申請書の提出はできません。

日時・場所…4月17日(金)8:30~17:15 いわき市役所本庁舎1階 生活再建市民総合案内
4月18日(土)10:00~16:30※ いわき市小名浜市民会館 小会議室

※のつく回は、福島県居住支援協議会・住宅金融支援機構が開催する「住宅再建相談会」と共催です。

【お問い合わせ先】

住まいの復興給付金事務局コールセンター：0570-200-246
(土・日・祝日含む9:00~17:00)
ホームページ：<http://fukko-kyufu.jp/>

～皆さまへのメッセージ～

私のふるさと女川町は震災で深く傷つき、大切な仲間たちの悲しみにも触れてきました。

震災から4年、女川駅が生まれ変わりました。皆さんの街や心にも、復興のつち音は聞こえているでしょうか。

一人一人の歩幅は違うものです。無理をせず、粘り強く、新しい東北に生まれ変わっていきましょう。

心は常に、ふるさと東北とともにあります。



中村 雅俊